

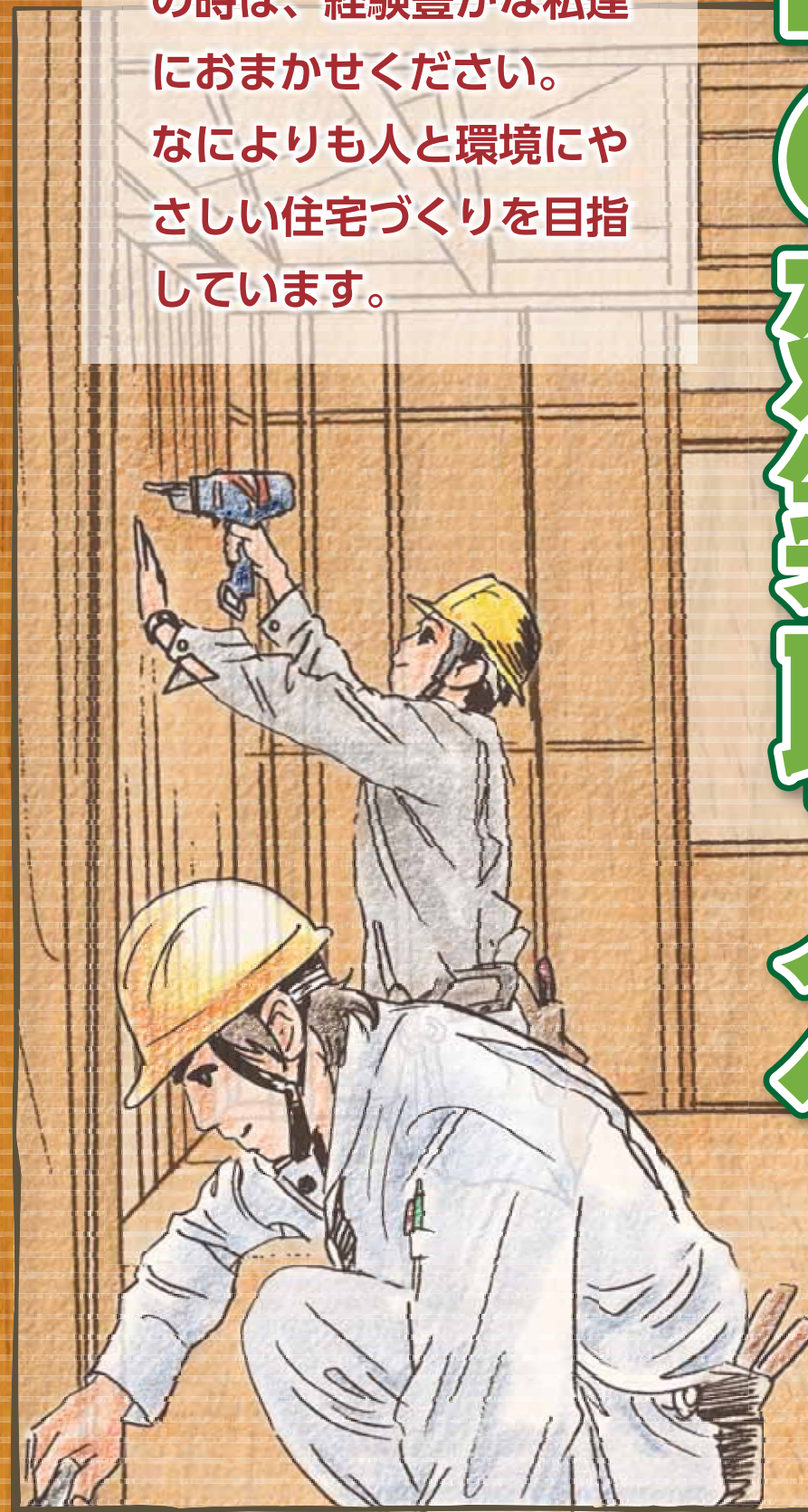
# 新築・増改築／修繕 何でもOK!



豊富な 実務経験	建築士 (1級・2級・木造)	技能士 (1級・2級)	施工管理技士 (1級・2級)
	増改築相談員・指導員		職業訓練指導員

お住まいのことでお困りの時は、経験豊かな私達におまかせください。  
 なによりも人と環境にやさしい住宅づくりを目指しています。

# 町の建築職人へ リフォーム・新築は



# マイホームの 寿命をのばす

# CHECK POINT

日頃の点検、こまめな手入れが、  
住まいを長生きさせます

住まいは日頃のちょっとした手入れさえおこなわなければ、永い間快適に住めるものです。そのため、掃除などのほかに定期的に点検を行うことが望まれます。こまめに気を配っていれば、それだけで補修費用をかなりおさえることができます。

## チェック

## ポイント

CHECK POINT

1

### 屋根の雨漏りを 点検しましょう

軒先の瓦が少々ずれている程度なら、居住者の方でも補修できますが、棟近くの瓦は重量がかかっていて補修が難しいので、専門家にまかせます。  
谷のトタン部分は雨漏りをおこしやすいので、サビないようペイントを塗ります。



CHECK POINT

4

### バルコニー、ベランダ 点検をおこたりなく

バルコニーは、常に風雨にさらされているので、汚れがたまったり腐食しやすい場所です。ほこりやゴミがたまっていないか、雨水などがすみやかに排水されているか、床の防水面に破損がないかどうか、点検します。



CHECK POINT

7

### カビ、ダニ対策は 風通しと結露防止を

カビは、温度(20~70℃)、湿度(70%以上)、栄養の3つの条件がそろると、どこにでも発生します。最近の室内のカビの原因は、アルミサッシや窓ガラス、壁が結露し、その湿気が室内にたまることです。カビが繁殖すると、ダニが集まってきます。ダニはカビが大好物です。



### 樋の破損は すぐ手当しましょう



破れたところから出る水が、土台や壁をくささせます。小さな破れは防水テープなどでふさぎます。また、つまった落葉やゴミを取り除くとともに、つなぎ目の部分の点検も忘れずに行います。

CHECK POINT

2

### 基礎や土台は 専門家にまかせます



基礎や土台は、家を支える大切な部分です。それだけに点検も大切です。補修は専門家にまかせましょう。基礎、土台には水が大敵です。外壁に接して物を置いていたり、床下換気口をふさいでいないかどうか、通気、水はけに注意しましょう。

CHECK POINT

5

### 安全かどうか① 防犯対策を忘れずに



空き巣、ドロボーの被害が増えています。出入口や窓など開口部の防犯対策を見直してみましょう。ドロボーの侵入工作に5分持ちこたえれば、侵入をあきらめると言われています。また、カーポートの屋根、道路に設置された電柱や標識から伝って2階に入りやすいかどうか点検します。

CHECK POINT

8

CHECK POINT

3

### 外壁の破損は 家の寿命をちぢめます

モルタル塗りの外壁には細かい亀裂が入ることがありますが、モルタルが乾燥硬化する際に収縮するために生ずるもので、ある程度やむを得ない現象です。モルタルは通常3回程度に分けて塗り、亀裂が下地まで通らないよう施工しています。しかし、亀裂が大きくなったり、モルタルがはく離すると補修が必要となります。



サイディングは、継ぎ目にシーリングが充てられており、すきまをふさいでいます。シーリングの劣化や表面塗装のはがれ、ひびがないかどうか、点検します。

CHECK POINT

6

### 白アリ、害虫は 早期発見が第一です

住まいに被害を及ぼすのはヤマトシロアリとイエシロアリです。白アリは湿気が多く暖かい場所を好みます。近所で白アリが発生したり、羽蟻を見かけたら、念のため土台や床下の木部を点検しましょう。

違いをよく覚えて

羽 胴のくびれ



【シロアリ】

【アリ】

CHECK POINT

9

### 安全かどうか② 地震対策も点検

大地震に備えて、建物の耐震診断を受けることも大切ですが、室内の家具の転倒防止対策もおこなわないでください。本棚(巾90cm)は150~200kg、洋ダンスは100~150kg、アップライトのピアノで200~250kgもの重量があります。寝室では必ず家具に転倒防止金具をつけましょう。

